

2013年
7月 1日
NO 9号

貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合
連合会
発行人 相澤武志
編集人 辻井寛明

仙臨労組第28回定期大会を開催！

6月28日、多賀城市文化センターにおいて、仙臨労組第28回定期大会を開催しました。大会には代議員・傍聴者をはじめ、来賓として貨物労連本部の辻井事務局長、鶴木副委員長、労連東北地協の阿部議長、仙台臨海鉄道(株)より大橋専務、長野常務が出席しました。

開会に先立ち、三浦委員長から東日本大震災から2年3ヶ月が経過したが、未だに津波被害の地区は道半ばである。この現実を今後も全国に発信する。幸いにも我が仙台臨海鉄道(株)は、昨年9月に1年6ヶ月ぶりに見事にレールで復活した。しかし、会社の経営状況は厳しい現実である。会社は「経営改善5ヵ年計画」を策定した。その内容は今後5年間にわたって定期昇給2号俸、期末手当は年間1ヶ月、新規採用は実施しない。という内容である。

組合員の賃金削減で会社経営を建て直そうとしている。収入拡大を中心とした、抜本的な構造改革や経営改革が必要である。したがって未だに労使で折り合っていない。実効するのは、職場で働く組合員である。経営陣は社員の意見に耳を傾けるべきである。また、安全についても危惧している。昨年以上に事故が多発しており、その背景には組合員のモチベーション低下がある。会社は7月に非常事態宣言を発するようだが、仙臨労組は組織強化を仙台臨海通運と連帯して邁進する。宮城県の広域防災構想について、特に仙台貨物タ駅移転問題は今後の動向を注目している。

最後に、参議院議員選挙について、貨物労連として生活の党の山岡賢次氏を組織として推薦することを決定した。投票日まで1ヶ月を切ったが当選に向けて悔いの残らない闘いを展開しよう。

益田新委員長を選任！

今定期大会において、三浦委員長から益田新委員長にバトンタッチしました。三浦さんは、16年間にわたって委員長を務めました。特に、一昨年の東日本大震災の復旧・復興に向けての功績が光ります。長い間ご苦労様でした。

山岡賢次氏を国政に送り出そう！